

第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

日 時：令和4年12月1日（木）5校時

対 象：5年1組 31名

1 単元名 「お米のみりよく再発見 ～知っていた？お米のひみつ～」

2 単元について

（1）単元の目標

○お米に関する調べ学習を通して、農家の方々や消費者の願いや思いに関心をもち、自分で調べた知識をもとに課題の設定や解決を図り、自分の考えを発信していこうとする態度を養う。

（2）単元の評価規準

観 点	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	◇知識を広げたり、深めたりすることができる。 ◇コミュニケーションの方法やツールを活用する技能を身に付けることができる。 ◇課題解決の方向性や価値を見出すことができる。	◇自ら課題を設定し、解決に向けた計画を立てることができる。 ◇資料を活用し、情報を集め、整理・分析を進めることができる。 ◇まとめや表現の方法を工夫することができる。	◇主体的・協働的に課題解決に取り組むことができる。 ◇互いのよさを生かしながら、自分の考えを交えて伝えることができる。 ◇積極的に文化の継承や発展に関わろうとする思いをもつことができる。

（3）単元の設定理由

代々椎名町小学校の5年生は、学校園の田んぼで米作りを行っているので、今年は自分たちが作るのだと意欲をもっている。実際に1から稲作を行っていくという体験は児童の「米」に対する興味・関心をより深めることができたと思われる。また、社会科と関連させて学習を進めていくので、学級全体が米についての基本的な知識がある。

本単元では、これまでの学習や体験を生かし、「米」に関する課題の設定や解決を図り、調べたことを自分の言葉で表現させたい。また、椎名町小学校の伝統を引き継いでいくために、4年生に対して自分たちがお米について調べてまとめたことや経験を発表する機会を設けたい。

3 児童の実態

明るく、前向きに学習に取り組めるクラスである。グループ学習を多く取り入れ、発表する機会を行ってきているので、自分たちで工夫して発表を行うことができる。普段の学習では、調べ学習やまとめる学習を肯定的に行う児童が多く、特に自分自身の興味・関心のあるものに関しては、学習時間中以外でも集中して取り組むことができる。しかし、友達の発表を聞いて適切なアドバイスをすることやアドバイスを受け、改善していくことができる児童が少ない。

本単元では、内容について踏み込んだアドバイスや受けたアドバイスからよりよいものを作ることができるようにしたい。そのため、社会科で米の作り方や農家の人々の思い、消費者の思いなどを学習して、全員が基本的な知識をもっている状態にしている。また、発表練習では、自分の発表をタブレットを用いて撮影し、自分のことを客観的に見て、分析できるようにしたい。

4 授業づくりの工夫（ICTの活用）

（1） コラボノートの活用

友達の発表を受け、コラボノートに発表の良かった点、改善点を記入させる。聞いているグループからのアドバイスがメモを取らずとも、記録として残り、その後の改善が円滑に進むようになる。今までの学習や経験から「米」について知っていることをコラボノートのイメージマップに整理する。そこから米についてどのような課題が浮かび上がるかを考える。

（2） カメラ機能の活用

椎小米を育ててきた画像を撮影し、発表する際に使ってもよいこととする。撮影したものの中から自分たちが使いたい画像があれば、拡大や縮小、トリミングなどの加工をして、活用することができる。

（3） クラスルームの活用

調べた内容を校内にも発信していくために、椎名町小学校職員室のクラスルームに発表動画を載せる。校内にも発信し、4年生以外にも椎名町小学校の伝統や調べたことなどを伝えることができる。

（4） 自己評価（グーグルフォーム）

自己評価をグーグルフォームで行い、集約する。情報収集が一元化され、データの集計・閲覧が容易になる。

（5） モニターを使用した時間管理

タブレット内のサイト「タイマー」を使って、それぞれの活動時間をモニターに投影し、時間を管理する。授業展開の時間超過を防ぐとともに、子供たちが時間をより意識して活動に取り組むことができる。

5 単元指導計画（22時間）

過程	時	○主な学習活動 ・留意点	◇評価規準【評価の観点】
① ふ れ る ・ つ	1 2	○「椎小米」を育てながら学んできた米について振り返り、学習課題を考える。 ・米について知っていることをイメージマップに整理し、どのような課題が浮かび上がるかを考える。	◇主体的・協働的に課題解決に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】

か む	3 4	○各自の学習課題を決定し、調べ方、まとめ方について計画をたてる。 ・どのような発表をするか確認する。 ・発表の中には自分たちの経験も入れる。	◇課題解決の方向性や価値を見出すことができる。 【知識・技能】 ◇自ら課題を設定し、解決に向けた計画を立てることができる。 【思考力、判断力、表現力】
② 広 げ る ・ 考 え る	5 ～ 10	○課題別のグループを作り、調べたことや自分たちの考えをまとめる。 ・タブレットや図書の本、パンフレットなどを活用して調べさせる。 ・個人→グループ→全体で、情報共有していく。 <グループ別課題例> ・米作りの一年 ・消費者に喜ばれる米を作るための工夫 ・米の銘柄や品種改良について ・米の輸出入 ・日本と世界の米料理 など	◇コミュニケーションの方法やツールを活用する技能を身に付けることができる。 【知識・技能】 ◇知識を広げたり、深めたりすることができる。 【知識・技能】 ◇資料を活用し、情報を集め、整理・分析を進めることができる。 【思考力、判断力、表現力】
③ ま と め る ・ い か す	11 ～ 16 17 (本時)	○発表を撮影・視聴し、改善点を話し合う。 ・発表の形式は、模造紙・プレゼンテーションソフト・ペープサート・紙芝居など、グループで決める。 ・動画撮影した発表を見させることで、自分たちを客観的に評価する。 ・気付いたことをもとに、発表をよりよいものとするために修正をする。	◇主体的・協働的に課題解決に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ◇互いのよさを生かしながら、自分の考えを交えて伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ◇まとめや表現の方法を工夫することができる。 【思考力、判断力、表現力】
	18 ～ 20	○調べたことをまとめ、米に関する自らの考えを発表し、互いに学び合う。 ・グループごとのペアになって発表を行う。 ・中間発表会を開き、成果を共有するとともに気付いたことや改善点を互いに伝え合う。	◇互いのよさを生かしながら、自分の考えを交えて伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ◇まとめや表現の方法を工夫することができる。 【思考力、判断力、表現力】

		ブからもらったアドバイスをもとに、発表をよりよいものとするために再度修正をする。	
	2 1 2 2	○4年生に向けて発表する。 ・クラスルームに発表動画を載せて、調べたことを校内にも発信する。	◇積極的に文化の継承や発展に関わろうとする思いをもつことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】

6 本時の学習（17／22時間）

（1）ねらい

○調べて分かったことを共有するとともに、視点に沿って気付いたことを話し合い、改善の方法を考える。

（2）展開 場所：教室

過程	学習活動	○指導上の留意点 ◇評価基準【評価の観点】	ICTの活用と 教師の意図
ふれる・つかむ 5分	1 めあてを確認し、学習の流れを知る。	○発表するグループ、聞いているグループそれぞれの活動を確認する。	
	調べて分かったことを共有し、お互いに良かった点や改善点を伝え合おう。		
		○聞いているときの視点を全体で共有する。 ・内容について（よさ） ・資料について（使った物） ・態度について（声の大きさ、話す速さ）	
広げる・考える 30分	2 グループごとに発表する。 ・発表するグループ 1 発表をする。 2 自己評価をする。 3 聞くグループからアドバイスを受ける。	○それぞれの活動時間をモニターに投影する。 ○発表が早く終わってしまった場合は次の活動に取り組むよう指示する。 ○アドバイスをする時間は全体でそろえる。 ○アドバイスは全員させる。	【一斉】大型モニター ・タイマーを大型モニターに投影し、時間を意識して活動に取り組ませる。 グループフォーム ・自己評価をグループフォームで行い、集約する。情報収集が

	・聞くグループ 1 発表を聞く。 2 良かった点や改善点を コラボノートに書く。 3 アドバイスをする。 3 発表するグループを入れ 替える。	◇互いのよさを生かしながら、自分の考え を交えて伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	一元化され、データ の集計・閲覧が容易 になる。 【個別】 コラボノート ・グループの発表を受 け、良かった点と改 善点を記入させる。 発表者が聞してい るグループのメモ を取らずとも記録 として残せるため、 その後の改善が円 滑に進むようになる 〔個別〕〔協働〕
ま と め る ・ 生 か す 1 0 分	4 中間発表会を通して気が 付いたことを発表する。 ・中間発表会を受け、本番の発 表のために今後どう改善し ていくか発表する。	○発表をしたことと発表を聞いていたこと それぞれの視点から感想を発表させる。	

(3) 板書計画

お米のみりよく再発見
～中間発表会をしよう～

【めあて】

調べて分かったことを共有し、お互いに良
かった点や改善点を伝え合おう。

【今日の流れ】

発表者	聞き手
① 発表する。 ② 自己評価をする。 (フォーム) ③ アドバイスを受け る。	① 発表を聞く。 ② コラボノート に良かった点・ 改善点を書く。 ③ アドバイス をする。

4年生に向けて
聞いているときの
視点

- ・内容（よさ）
- ・資料
- ・態度（声の大き
さ、話す速さ）

〈アドバイスを受けて〉

**良かったと
ころ**

**今後
に
いかしてい
くところ**